



富草小学校 運動会



令和4年11月1日

発行人●阿南町公民館編集部

編集人●公民館報編集委員会

印刷所●飯田共同印刷株式会社

連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287 E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

# あなん

## もくじ

- P1 表紙 遊歩道
- P2 わが町を盛り上げよう
- P3 西富士の歩み⑤
- P4 わが町の石造文化財⑨
- P5 できごと・おしらせ
- P6 おらほの若い衆、私の夢
- P7 私の趣味・自慢  
うちのホープ
- P8 あの人 この人、編集後記

## 遊歩道

「元気ですかー!」

元気があれば何でもできる!...」  
昔からこの決まり文句が好きで、  
文字通り元気をもらって来た。

『燃える闘魂』アントニオ猪木氏は生涯挑戦し、闘い続けた人である。成功ばかりではなく、挫折も失敗もある中で、晩年は難病との闘病生活をユーチューブで公開。生き様を発信し続けるその影響力は絶大だった。

コロナ禍や戦争で物価高騰が加速し、日本を取り巻く世界情勢もさらに不穏を増す一方。ジワジワ押し寄せる高齢化の波。後期高齢者の医療費窓口負担が二割になった。難病で小さく痩せた彼の姿を見るたび、ああ老いは誰しもに平等にやってくるのだと痛感させられた。

しかし明日は来る。この道が続く限り希望は捨てないでいこう。

危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし  
踏み出せば その一歩が道となり  
その一足が道となる

迷わず行けよ 行けばわかるさ  
前を向いて、前進あるのみ。



昨年の5月から地域おこし協力隊として活動しています、名古屋市出身の岡田遼多郎と申します。私の阿南町での活動のきっかけはSNSを通して、阿南町の農家さんから阿南町を紹介していただき、役場の担当の方へ話を繋げていただき

ました。

自分自身の出身地である愛知県やその他東海地区の市町村の農業の研修制度等を調べ、受け入れ先を探していました。阿南町の補助金や研修、役場職員の方の対応がどの市町村よりも1番優しく、誘致に積極的なのが伝わり、阿南町ならやっていけると感じました。また、阿南町は飯田市まで車で40分、実家まで90分程度で距離的にも問題無かつ

今年、きゅうりと市田

柿の研修を行っています。新規就農後は、この2品目を中心に生計を立てていこうと考えております。きゅうりは昨年も挑戦しましたが、市田柿は今年からの挑戦になります。今年はきゅうりを5月に定植し病害虫対策として防除を3日に1回程度と対策を講じた結果、台風にも負けず何とか10月中旬まできゅうりを収穫をする事ができました。また、市田柿は今年の1月から剪定を初めて行い、実がなるかどうか不安でしたが、しっかりと実がなり、収穫することができました。まだ、柿剥きの機械等、加工に必要な機械や柿を干す場所が見つかっていないので自分たちで市田柿の加工はでき

ませんが、他の市田柿を加工している農家さんの所でしっかりと加工技術を勉強していきます。

協力隊の活動を通して農業の知識や技術をしっかりと身に付けていき、協力隊卒業後の目標は阿南町で新規就農者となり農業を営んで行くだけでなく、農業従事者の1人として阿南町だけでなく農業界を盛り上げていきたいです。

たのが阿南町での活動の決め手になりました。協力隊として活動を開始して約1年半が経過しました。新規就農に向けて日々研修に努めています。

たのが阿南町での活動の決め手になりました。協力隊として活動を開始して約1年半が経過しました。新規就農に向けて日々研修に努めています。



岡田 遼多郎さん  
Instagramアカウント

# 西富士のあゆみ⑤

今回は、前号 紹介しました西富士開拓 2世の佐々木 健一郎さんから酪農経営を引き継いだ3世の佐々木 剛さんをご紹介させていただきます。

太平洋戦争後の1948年に130人ほどが入植して朝霧高原の開拓事業が始まりました。酪農振興指定地域として大規模な牧草地の改良工事なども行われました。

剛さんは入植2世の父 佐々木 健一郎さんより経営を引き継ぎ現在「富士西丸牧場」を経営しております。

「入植した当初は水もない溶岩地の原野で、牛をロープで繋いで野草を食べさせていたそうです。それから放牧を主体に酪農を続けています。牛はやっぱり土の上が1番で、どんな日も喜んで外に行きます。外にいないのんびりして、ストレスがないので牛もきれいで穏やかで

す」と、剛さん。

「親からは『好きなようにやれ』といわれて引き継ぎましたが、やみくもに規模拡大をするのではなく、牛の動きや機械の動きなどを考え、効率よく作業ができることを優先に、牛舎を建てました。毎日同じように飼うことを基本にして、作業時間やエサを同じようにすることで、いつもと違うところがあればすぐに感じとれます」といいます。



搾乳牛舎の様子



牛舎の様子

「富士西丸牧場」では、牛乳本来の風味にこだわり「子どもたちに100%富士宮産の牛乳を飲ませてやりたい」という思いか

ら、地域の酪農家と2016年に「富士の国乳業株式会社」を設立し、良質な生乳のみを使い学校給食へ供給しています。富士宮の酪農家が作った安全安心で美味しい牛乳を飲んで、その牛乳の物語を知ってもらいたいと食育にも努めています。

剛さんの夢だった学校給食への供給でしたが、近年はコロナ禍で全国休校により一時生産停止になり悔しい思いをされました。「今後は、ヨーグルトの加工を増やすなど、牛乳づくりに馬鹿正直な酪農家の思いをもっといろいろな形にしていきたい」とのことです。

富士山麓の雄大な自然の中で受け継がれる酪農業。「富士丸西牧場」は2019年の第37回全農酪農経営体験発表会で最優秀賞、翌2020年の農林水産祭で内閣総理大臣賞を受賞する快挙を達成しました。「これまでやってきたことを認めていただいて、自分も従業員も励みになっていきます」と喜びをかみしめたそうです。



牧場の様子



佐々木剛さん

# わが町の石造文化財⑨

## 和合村の道祖神(阿南町和合) —新発見の双体道祖神含め8基—

そもそも道祖神とは何か。すでに先学の発表等で今更の感もあるが、一口に「道路・旅人の安全を守る神」が道祖神で、その信仰は防災の神になったり、良縁・縁結びの神になったり、五穀豊穡の神となったり多岐にわたっている。

和合では、道祖神をドウロク神という。現在町村合併をして阿南町となったが、面積では町内の半分を占めている。隣接する旧村々は7か村におよび、境界付近の集落や道路沿いには、道祖神が祀られる。特に飯田方面からは1000m余の八尺峠の船窪から、酒・たばこや医者を迎える重要な道として、ドウロク神が祭祀されている。ここで、旧和合村の道祖神について詳細に触れておきたい。

今から30年以上前の昭和60年、飯田風越高校郷土班が調査した

「風越山30号—下伊那の道祖神—」には、和合地区の道祖神として文字碑3基・双体道祖神2基が掲載されている。その後の調査で、文字碑2基と双体道祖神1基を発見して(①)〜(③)、現在は8基が知られている。



旧和合村の道祖神所在分布地図

①は公団造林地の中村山新道に存在する文字碑の道祖神である。

②は現大沢林道 旧赤線のマムシ洞に馬頭観世音と並んで建立している文字碑の道祖神である。

③は現三度の共同墓地の尻にあり、かつてはここが赤線だったと思われる現林道より60m位上に祀られている。高さ57cm・幅28cmの船形状の石碑を3分の2彫り窪

め、その中に双体道祖神が陽刻されている。陰刻された窪みは高さ32cm・幅15cmで、その中に男神と女神が向き合い抱き合せて肩を組み、足を相互に入れ合っている。石材が軟らかく造立年等不明で、他地区からの搬入品かもしれない。この様態と全く同じものが茅野市米沢北大塩にある。「接吻道祖神」(抱擁形)と呼ばれるもので、その容姿が瓜二つであり、飯伊地方には数少ない貴重な双体道祖神である。

④⑧は既知の資料である。

④は浪合寄りの和合上、大和田橋手前であったものを、道路改良工事により移設したもの。「道祖神 明治18年6月廿8日」と、高さ55cm・幅27cmの舟形石に陰刻されている。西暦1885年の建立。

⑤木曾畑に「ドウロクジン」という小字名があり、現在の県道より巾川寄りの石ナギの辻に祀られていた。それを現在地に移設。高さ41cm・幅32cmの自然石に陰刻。正面に「道祖神 木曾畑組中」、裏

面に「明治18年酉2月」と刻してあり、西暦1885年の建立。

⑥は巾川の庚申堂横右手にあり、発電所のある場所から移したという。合掌形の双体道祖神で、高さ62cm・幅31cmの船形状石材に陽刻されている。道祖神の頭上を割れ目が斜めに走り、朱塗りの跡があった。

⑦は帯川庚申堂内に祀られている。高さ54cm・幅31cmの船形状の石材に祝言形の双体道祖神が陽刻され、その両脇に文字が陰刻される。「文久三亥年九月吉日 當村願主 西尾氏」とあり1863年の建立。

⑧は帯川宮澤橋手前の文字碑道祖神で、国道改良で諏訪社下へ移動。高さ50cm・幅23cmの方柱に「道祖神 文政十亥年三月吉日 助縁主十方善男女等」と陰刻・西暦1827年の建立。

以上旧和合村の道祖神八基を概説したが、日吉・鈴ヶ沢方面にはなさそうであり、③の抱擁形双体道祖神はその存在を注目しておきたい。(佐々木 勅)

6月・10月できごと

6月27日(火)

「ANAN 民俗芸能講座」

講師には、南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザーの櫻井 弘人先生をお招きして「南信州の風流踊り」について講演いただきました。受講者29名(会場受講25名・オンライン受講4名)と大勢の方が参加され、阿南町の文化について学びました。



10月8日(土)

「和合小学校 運動会」

運動会では全校生徒で、和合太鼓を元気いっぱい響きわたらせました。



和合太鼓「エイサー」の発表の様子

10月10日(月)・11日(火)

「阿南第一中学校 茜祭 阿南町美術館出張展示会」



阿南第一中学校の茜祭にて、阿南町美術館に収蔵されている阿南町の伝統文化にまつわる作品・蔵書を出張展示しました。

10月22日(土)

「ANAN町民トレッキング」

下條村を会場として、「龍嶽寺」「大山田神社」「鎮西大滝」を参加者で巡りました。阿南町の歴史に関係する文化財を巡り、秋の訪れを感じながらトレッキングを行いました。

10月15日(土)

「新野小学校150周年記念」

今年で新野小学校が創立されてから150年となることを記念し、記念式典が新野小学校体育館で開催されました。

式典には新野小学校の卒業生の方も見学に訪れ、「新野小学校150年のあゆみ」と題した写真のスライド上映を見ながら、当時の学校の様子を懐かしんでいました。

また、新野出身で興亜エレクトロニクス株式会社仲藤 恭久取締役会長による講演が行われました。その後、飯田市民吹奏楽団による演奏会も行われ、会場と一体と

なった演奏に、会場は祝福の空気に包まれました。



おしらせ

○11月12日(土)

感性と創造のフェスティバル 開催予定

今年は、文化会館にて会場発表を行います。オンラインでの視聴も可能です。

詳しい内容については、出張所または阿南町公民館事務局までご連絡をお願いします。

阿南町公民館 事務局

☎(22) 12270

# おらぽの若い衆

和合 和合上  
伊東 侑哉さん



## ①あなたが今やっていることは？

私は阿南町役場の振興課に勤務し主に、観光振興を担当しています。

主な業務は、キャンプ場の受付及び管理運営やクラインガルテン新野高原の管理運営業務を受け持っています。

## ②やりがいを感じることは？

私自身、一度、地元を離れ短

大を卒業し、阿南町役場の職員として勤務していますが、改めて業務の中で、阿南町民の皆様の優しさに毎日触れることができています。

日々の業務の中でたくさんの方と触れ合い、行政に携わり仕事をできていることがやりがいと思っています。大変な事も多くありますが、何事にもやりがいを持って日々仕事に取り組めます。

## ③これからやりたいこと・目標は？

阿南町は、若者が減り高齢化が著しく進んでいます。

役場に勤めてからこの問題については、強く感じています。問題の解消には、多くの人に足を運んでいただき、阿南町の良さを体験していただくことが大切だと思っています。

私は阿南町の観光を更に発展させ、たくさんの方に阿南町の魅力を発信したいと考えています。二瀬キャンプ場や池の島キャンプ場は年々、利用者が増えています。今後はさらにキャンプ場に負けない観光資源が必要

です。

阿南町は自然豊かで、のどかな素晴らしい場所です。将来的には、たくさん観光客が来ていただけるような町づくりを目指し日々取り組んでいます。

## 私の夢

新野小学校 6年生

後藤 誓汰さん



僕は将来カメラマンになりたいです。

理由は、3つあります。

1つ目は、お父さんがカメラ

マンだからです。

たまにお父さんの仕事について行ったとき、お父さんが写真を撮っているとかがかっこいいからです。

2つ目は、カメラが面白いからです。色々なレンズがあるからです。例えば、鳥などを撮るレンズや、魚眼レンズなど面白いレンズがあるからです。他のカメラにも色々な種類があるからです。例えば、二コン、ソニー、キヤノンなどのたくさん種類があります。それぞれ機能が違ったりするので楽しいです。

3つ目は、思い出などを写真にして、いつまでも残せるからです。結婚式、入学式、成人式などは人生に1回しかないのです、その思い出を残せるからです。

将来の夢を叶えるために、日々色々な写真を撮ることがんばっていきたいです。

# 私の趣味・自慢!

大下条 西條 早稲田

熊谷 くまがい 忠一さん ただかず

末子さん すえこ



趣味「木彫・家づくり」

倉庫の壁に描かれた大きな馬やパンダをみながら玄関にお邪魔すると、おしゃれなつい立があり、両側にはところ狭しと、十二支などの縁起物の彫り物が並び、さらに居間には立派な不動明王、お座敷には「笑いは健康の元」と書いた布袋様が鎮座していました。そしてその文字を指して「これがいいら」と布袋様の様に素敵な笑顔を見せてくださいました。小学生の頃から物を作るのが大好きで、じっとしているのが嫌いで家にいれば何かしているそうです。これはというものはないそう



倉庫に描かれた絵



布袋様の木彫り

ですが、木の株をみるとアイデアが浮かび彫りたくなるそうです。それが高じてか、なんと家まで建ててしまわれたそうです。設計などは大工さんをお願いしたそうですが、解体から完成までほとんど奥様と2人で3年がかりで造られたそうです。その家の、居間にはお孫さんの写真がいつでも見られるようにとたくさん飾られ、ご自分の作品や奥様の手芸品に囲まれ毎日楽しく暮らしていらっしやいます。

## うちのホープ

こんにちは。ぼくは富草保育園うめ組の勝野真尋まひろです。妹のひまりと弟の遥真はるまの3人兄弟だよ。

ひまりはもも組で、毎日いっしょに保育園へ行っているよ。今はボールで遊ぶのが好きだよ。今度竹馬の乗り方を教えてあげるんだ。

遥真は今年の4月にうまれたよ。まだ小さくてとってもかわいいんだよ。もう少し大きくなったら車や新幹線のおもちゃでいっしょにあそびたいな。

ぼくは、来年小学生になるよ。

小学校はどんな所かドキドキしちゃうけど、楽しく行けるといいな。テレビで見たプロレスリングが面白そうだなと思っているから、プロレスリングの勉強が楽しみだよ。パソコンを使えるようになったらすぐくっかいな。

ぼくは大きくなったらウルトラマンZになりたいんだ。だからごはんを毎日たくさん食べて、運動も勉強もいっぱいがんばるぞ!

令和4年7月28日に自分史「続市ノ瀬川」を自費出版されました。



新野 栃洞 鈴木 廣司さん

あの人この人



富草 鷺巣 勝野翔太さん・沙織さんのお子さん

ひまりさん (4歳)

遥真さん (0歳6か月)

真尋さん (6歳)

平成16年11月3日 最初の「市ノ瀬川」を出版されています。巨開村から阿南町へ35年余りの役場勤務の間で、記憶に残る概要や鈴木家の歴史の知らない事柄と自分史を記されています。幼少の頃からの記憶をたどり、その後の地域のことから時代の流れなど事細かに記されており、内容は本当にすごい！ 前作から現在までの流れをまとめたのが「続市ノ瀬川」です。本の後半は、今年亡くられた奥様の実家 伊東家(屋号 株木)の歴史と、故 伊東 加富氏が鍋田干拓に入植してからの壮絶な人生60年余りと、40か国余り訪れた国の農業、生活の様子を記し廣司さんのものに送られてきた内容です。そして、世界の状況は、世界一貧しい国といわれるウルグアイ前大統領 ホセ・ムヒカ 氏が引用した古代賢人のことば「貧しい人とは、『少ししかモノを持っていない人』ではなく、『もっとも』と、いくらあっても満足しない人の事だ。』と・・・ 令和4年2月3日亡くなられた妻 靖世さんの歌集「稲の花」は短歌誌「朱」に加入しその後「ポ



橋の上から見て聞いて

市ノ瀬川・続市ノ瀬

稲の花

トナム」にはいり数千首の作歌を続けたものです。 文芸誌「橋」に年1編ずつ書いたものをまとめた「橋の上から見えて聞いて」もすべて廣司さんによって出版されています。その努力にはただただ圧倒されるばかりです。早くからワープロ・パソコンを使い編集されたのも驚きでした。奥様は自宅で廣司さんが最後まで介護をされていて、パソコンのビデオ通話で子どもさんたちとお話されると言われた優しいお顔が印象的でした。



ロシア軍が令和4年2月24日にウクライナに侵攻し、ウクライナ戦争が始まり8ヶ月が過ぎようとしています。

ウクライナ戦争により、地球規模の食糧危機が発生し深刻な食糧不足と食糧価格の高騰が起きました。そして同時に貧困・飢餓問題に発展し、前例のない飢餓と貧困の波が中東・アフリカ諸国に押し寄せました。

日本では、年の初めから商品価格の値上げが始まり、9月・10月にも原油高騰や原材料高騰に加えウクライナ侵攻の影響や急激な円安も響いて商品の値上げが続いています。8月の消費者物価指数は、値上げ等の影響で31年ぶりの上昇率だったそうです。現在の物価上昇に賃金の伸びが追いつかない状態が今後も続くといわれています。日本経済の生産性が向上し、企業の利益が賃上げに繋がる循環社会ができることを期待しています。